中央労働災害防止協会・発行　1950(昭和25)年7月20日創刊　2022年9月1日発行(毎月1回1日発行)　第73巻第9号　ISSN 1881-0462

安全と健康

INDUSTRIAL SAFETY & HEALTH

2022
9
September

特集

騒音障害防止ガイドライン改正へ

令和4年度 全国労働衛生週間スローガン

あなたの健康があってこそ　笑顔があふれる健康職場

紹介します！安全・健康職場

残業時間管理や福利厚生制度で、従業員の健康に寄り添う

日本ナレッジスペース㈱

WEBシステム等の開発やネットワーク／サーバの設計構築・保守運用を手掛ける日本ナレッジスペースは、健康経営やがん対策の取り組みが評価され、令和4年3月、「健康経営優良法人（ブライト500）」「がん対策推進優良企業」の認定を受けた。

長時間の残業などの過重労働が課題となるIT業界にあって、同社では、残業時間の徹底管理をはじめ、予防からり患した場合までをフォローするがん対策、充実した福利厚生制度など、従業員の健康確保のための施策を推し進めている。同社代表取締役社長の松岡竜邦（たつくに）さん、経営企画課の桒原（くわばら）健一さん（**写真**）に、その取り組みについてうかがった。

健康経営着手の経緯

日本ナレッジスペースでは、健康経営として、「残業時間管理の徹底」「定期健診受診率100％」「従業員の配偶者の健診を会社で負担」「従業員数50人未満の時点から進めているストレスチェックの実施」などの取り組みを行っている。

健康経営に取り組むきっかけは、創業以前にまでさかのぼる。前職ではメーカーの営業マンだった松岡社長は、同僚のエンジニアが働く様子から、残業が多く、休みがちで、また、運動不足など、体調管理に手が回らない状況に改善が必要だと感じていたという。

写真　桒原さん（左）と松岡社長（右）

その後、2014年に同社を創業するにあたって、エンジニアである従業員の健康に寄り添う会社にしたいとの思いから、健康経営に着手した。2017年から社内講習を行うなど、徐々に具体化させ、2018年から本格的に前述のような取り組みに着手。2019～2020年に健康経営優良法人の認定を受けたのち、2022年、中小規模法人部門のうち、上位500社の企業に与えられる「ブライト500」の認定を受けるに至った。

健康経営は松岡社長自身が主導的に取り組み、社長自ら「健康経営エキスパートアドバイザー」の資格を取得するなど、独自に試行錯誤して進めてきたものだ。松岡社長は「資格取得に向けた学習